

満天星

い る だ ん

伊那弥生ヶ丘高校図書委員会 3 年 A 組

「生きるぼくら」

原田マハ

いじめから、引きこもりとなつた二十四歳の麻生人生。頼りだった母が突然いなくなった。残されていたのは、年賀状の束。その中に一枚だけ記憶にある名前があった。「もう一度会えますように。私の命があるうちに」それは祖母のマーサおちゃんからで祖母のいる夢科へ向かい祖母のために取り組んだ米作りを通して、食糧の大切さ、家族のありがたさを噛みしめる農業・青春成長小説。



「誰が勇者を殺したか」

駄犬

勇者が魔王を倒した。同時に——
帰らぬ人となった。
魔王が倒されてから四年。平穏を手にした王国は亡き勇者を称えるべく、数々の偉業を文献に編集する事業を立ち上げる。かつて仲間だった騎士・レオン、僧侶・マリア、賢者ソロンから勇者の過去と冒険話を聞き進めていく中で、全員が勇者の死の真相について言葉を濁す。「何故、勇者は死んだのか？」勇者を殺したのは魔王の仲間なのか。王国、冒険者たちの業と情が入り混じる群像劇が目を離せないファンタジーミステリ。

「嫌われる勇気」

岸見一郎・古賀史健

心理学界の三大巨匠の一人アルフレッド・アドラーは、「トラウマ」の存在を否定し、「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである」と断言し、対人関係を改善していくための具体的な方策を提示していくアドラー心理学は、現代の日本に必要な思想だと思われる。そして、対人関係に悩み人生に悩むすべての人に贈る、「まったくおたらしめ古典」です。

